

平成25年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	11	3.0	8.5	16	3	7
鴨川	新大宮バイパス線下	10	2.8	5.3	16	4	8
	加茂川橋	9.1	2.6	5.8	25	6	13
	学校橋	9.2	3.7	6.7	25	5	12
	中土手橋	9.9	3.5	6.5	72	7	22
	さくら草橋	9.4	2.9	6.6	44	7	18
鴻沼川	櫛引橋	7.9	1.1	4.4	39	8	16
	霧敷橋	11	6.5	8.6	7	<1	3
	新開橋	11	3.1	6.9	22	4	11
笹目川	市立浦和南高校脇	8.6	2.5	5.3	15	4	8
藤右衛門川	柳橋	8.4	2.6	5.2	19	3	9
芝川	野原橋下流200m(船橋)	8.3	3.2	4.8	21	5	12
	境橋	7.1	3.7	5.0	19	4	8
	大道橋	7.6	4.1	5.2	39	6	14
	八丁橋	9.4	3.4	5.9	32	7	19
深作川	宮ヶ谷塔橋	9.9	4.9	7.8	54	5	24
綾瀬川	高野橋	10	4.2	7.4	65	6	17
	戸井橋	9.6	4.8	6.8	46	6	19
	啜橋	8.9	4.6	6.6	79	7	25
元荒川	城北大橋	10	3.9	7.6	43	4	12
	新曲輪橋	10	4.1	7.5	69	5	16
	永代橋	10	5.8	8.0	110	6	21
古隅田川	城殿宮橋	6.6	2.6	5.0	39	9	21

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成26年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	6.2	8.6	12	2	6
鴨川	新大宮バイパス線下	9	3.6	5.9	16	6	10
	加茂川橋	7.9	4.2	5.7	18	5	12
	学校橋	8.8	4.0	6.2	26	5	13
	中土手橋	9.7	4.1	6.1	110	8	24
	さくら草橋	10.0	4.3	6.8	47	3	16
鴻沼川	櫛引橋	7.6	2.8	5.0	29	5	16
	霧敷橋	13	6.9	9.5	5	1	2
	新開橋	10	4.0	6.6	16	1	7
笹目川	市立浦和南高校脇	8.7	3.0	5.2	11	2	7
藤右衛門川	柳橋	7.3	2.9	4.8	40	4	15
芝川	野原橋下流200m(船橋)	6.8	2.6	5.2	31	3	10
	境橋	6.9	3.5	5.4	17	4	8
	大道橋	7.7	4.1	5.7	23	3	13
	八丁橋	9.1	3.4	5.7	29	4	16
深作川	宮ヶ谷塔橋	11.0	6.0	8.4	31	6	18
綾瀬川	高野橋	11	4.8	7.7	21	4	10
	戸井橋	11.0	5.4	7.8	33	5	15
	啜橋	11.0	5.8	8.2	31	5	18
元荒川	城北大橋	11	6.1	8.2	17	3	8
	新曲輪橋	10	4.5	7.8	24	3	9
	永代橋	11	6.5	8.6	40	5	13
古隅田川	城殿宮橋	8.4	4.0	5.5	36	12	21

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成27年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	10	7.1	8.6	18	3	6
鴨川	新大宮バイパス線下	10	4.1	6.2	11	6	9
	加茂川橋	10	3.6	6.7	23	8	14
	学校橋	11	3.5	6.9	24	4	13
	中土手橋	10	6.0	7.3	36	6	17
	さくら草橋	9.3	5.0	6.9	25	4	14
鴻沼川	櫛引橋	11	2.8	5.6	26	4	13
	霧敷橋	18	7.5	11	5	< 1	2
	新開橋	13	5.4	7.9	18	4	10
笹目川	市立浦和南高校脇	9.2	3.4	6.8	18	3	8
藤右衛門川	柳橋	7.5	3.2	5.5	24	3	11
芝川	船橋	8.0	4.4	5.9	16	2	7
	境橋	11	5.4	7.1	18	2	7
	大道橋	9.9	4.9	6.6	41	3	15
	八丁橋	10	4.3	6.6	55	4	22
深作川	宮ヶ谷塔橋	11	6.5	8.2	51	6	20
綾瀬川	高野橋	12	5.6	7.9	29	4	11
	戸井橋	12	6.0	8.1	30	5	14
	啜橋	11	6.4	8.3	28	7	16
元荒川	城北大橋	12	5.8	8.1	12	3	7
	新曲輪橋	11	6.1	8.1	14	4	8
	永代橋	11	7.6	9.1	17	5	9
古隅田川	城殿宮橋	9.6	4.1	5.7	31	14	18

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成28年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	12	6.5	9.6	14	2	6
鴨川	新大宮バイパス線下	10	2.6	6.4	14	6	9
	加茂川橋	10	3.5	6.3	21	4	11
	学校橋	10	4.3	6.9	19	5	10
	中土手橋	10	4.9	7.5	62	6	21
	さくら草橋	13	4.7	7.9	21	5	12
鴻沼川	櫛引橋	10	2.6	6.1	24	3	11
	霧敷橋	13	6.6	9.8	10	< 1	3
	新開橋	12	3.7	7.5	14	2	7
笹目川	市立浦和南高校脇	10	2.9	6.5	24	3	10
藤右衛門川	柳橋	10	3.6	5.7	43	6	12
芝川	船橋	10	3.9	6.8	12	2	7
	境橋	12	4.6	7.6	13	2	8
	大道橋	9.2	4.8	7.0	28	4	12
	八丁橋	10	5.2	7.2	62	9	20
深作川	宮ヶ谷塔橋	12	4.6	9.3	32	6	18
綾瀬川	高野橋	11	4.6	8.0	27	4	11
	戸井橋	10	4.7	8.3	27	8	16
	啜橋	12	6.5	8.8	32	5	18
元荒川	城北大橋	10	4.6	8.4	15	4	9
	新曲輪橋	10	4.9	8.4	18	5	10
	永代橋	11	6.3	9.3	25	4	11
古隅田川	城殿宮橋	8.9	3.6	6.2	40	12	19

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。

平成29年度 DO及びSSの測定結果

河川名	地点名	DO(日間平均値)			SS(日間平均値)		
		最大	最小	平均	最大	最小	平均
荒川	羽根倉橋	13	6.8	9.4	15	3	6
鴨川	新大宮バイパス線下	10	3.3	7.2	33	1	9
	加茂川橋	11	5.2	8.2	33	3	13
	学校橋	14	5.7	8.9	20	4	12
	中土手橋	12	6.8	9.2	31	8	17
	さくら草橋	12	6.0	8.5	21	6	12
鴻沼川	櫛引橋	10	3.5	7.6	21	2	10
	霧敷橋	20	9.0	11	5	<1	3
	新開橋	12	6.3	8.9	15	1	6
笹目川	市立浦和南高校脇	10	4.2	7.0	14	3	5
藤右衛門川	柳橋	10	4.4	6.9	18	5	9
芝川	船橋	8.9	5.4	7.2	24	2	8
	境橋	10	5.9	8.2	14	4	8
	大道橋	12	6.2	8.5	35	4	13
	八丁橋	11	4.3	7.5	64	5	18
深作川	宮ヶ谷塔橋	12	6.2	8.5	31	10	18
綾瀬川	高野橋	10	6.2	8.5	22	3	12
	戸井橋	11	6.8	8.8	30	4	16
	啜橋	12	7.0	9.2	46	4	20
元荒川	城北大橋	12	6.3	8.5	19	3	9
	新曲輪橋	12	6.2	8.5	20	3	8
	永代橋	13	7.3	9.6	20	3	9
古隅田川	城殿宮橋	12	3.6	7.5	37	9	17

【用語説明】

DO(溶存酸素): 水中に溶解している分子状酸素のこと。

一般に、魚が生存するためにはDO 3[mg/L]以上が必要といわれています。

SS(浮遊物質): 粒径2mm以下の、水に溶けない懸濁性物質の総称。

SSが多いと透視度が悪くなります。